

2026年度入学試験（7月）  
大学院デザイン工学研究科

建築学専攻 修士課程  
総合2年コース

**入学試験問題・解答用紙**

**[専門科目]**

2025年7月5日（土）  
9：30～12：30

＜解答要領＞

1. 計画，歴史，構造，環境，構法の5科目すべてを解答すること。
2. 解答は，問題用紙の解答記入欄にすること。
3. 問題用紙（解答用紙）のすべてに，受験番号と氏名を記入すること。また，表紙右下に受験番号・氏名を記入すること。
4. 参照・電卓使用はすべて不可とする。
5. 問題用紙（解答用紙）はすべて提出すること。
6. 別途配付する計算用紙は提出不要。

受験番号	
氏名	

2026 年度法政大学大学院デザイン工学研究科入学試験（7 月） 問題・解答用紙

試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号			
建築計画  ( 1 枚目 / 1 枚中)	建築学専攻	可 ・ <div>不可</div>	可 ・ <div>不可</div>				
				氏 名			

※参照可の場合（ ）

【問 1】集合住宅の住戸配置におけるリビングアクセス方式について、その特徴を述べ、計画時に留意すべき点を 2 点挙げなさい。

【問 2】以下の用語群から 3 つを選び、その用語を建築計画的観点から説明しなさい。

【用語群】

プロクセミクス    TKB    PFI    デン    コートハウス

選んだ用語： \_\_\_\_\_

説明：

選んだ用語： \_\_\_\_\_

説明：

選んだ用語： \_\_\_\_\_

説明：

試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号				
歴 史  (1 枚目／1 枚中)	建築学専攻	不可	不可					
				氏 名				

※参照可の場合（ ）

問 1 以下の各建築様式について、A～N の中から最もふさわしいものを二つずつ選び（ ）にそのアルファベットを記入しなさい。

ギリシア（ ）          ロマネスク（ ）  
  
ゴシック（ ）          ルネサンス（ ）  
  
バロック（ ）

- A ダラム大会堂      B アミアン大会堂      C キングズ・カレッジ礼拝堂      D クリュニ修道院  
E アヤ・ソフィア大聖堂      F サン・マルコ大聖堂      G ヴェルサイユ宮殿  
H ブルネレスキ      I フォルム      J ル・ノートル      K 建築十書      L アゴラ  
M エレクテイオン      N プラテレスコ

問 2 以下の各建築様式等について、A～N の中から最もふさわしいものを二つずつ選び（ ）にそのアルファベットを記入しなさい。

和様（ ）          大仏様（ ）  
  
禅宗様（ ）          新和様・折衷様（ ）  
  
権現造（ ）

- A 大崎八幡宮      B 長弓寺本堂      C 唐招提寺金堂      D 円覚寺舍利殿      E 浄土寺浄土堂  
F 皇大神宮      G 鶴林寺本堂      H 詰組      I 帳台構      J 挿肘木      K 千木  
L 柱頭のための組物      M 付書院      N 石の間

試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号
構 造  (1 枚目/2 枚中)	建築学 専攻	不可	不可	
				氏 名

※参照可の場合（ ）

問 1. 図 1-1 に示す断面形状をもつ重量  $W$ , 高さ  $H$  の物体を水平な床面に設置する。床面は十分な摩擦係数を備えており水平方向に滑ることはない。しかしながら, 物体が床から浮き上がらないように緊結固定することはできない。物体および床面はおのの均一な等方性材料でできていると考えてよい。以下の各問に答えよ。(配点: 24 点)

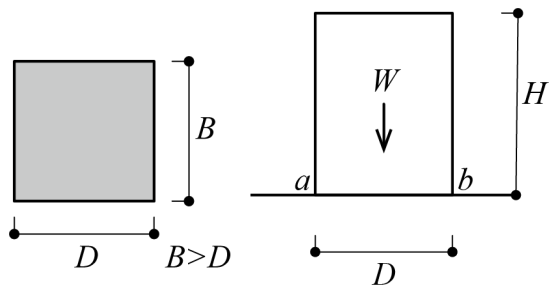


図 1-1

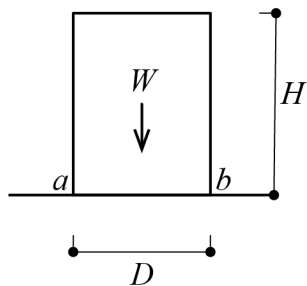


図 1-2

(1) 図 1-2 に示すように, 自重のみ作用している状態での床面に生じる接地圧を答えよ。

接地圧 \_\_\_\_\_

(2) 図 1-3 に示すように水平力  $P$  を作用させ, その値を漸増させていったところ,  $P = P_1$  のときに, a 端の接地圧が 0 となった。このときの水平力  $P_1$  および最大接地圧の大きさを答えよ。

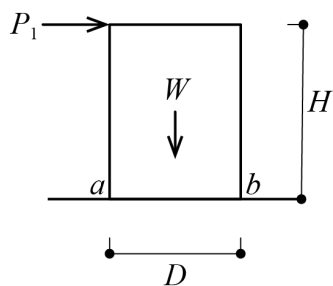


図 1-3

水平力  $P_1$  \_\_\_\_\_

最大接地圧 \_\_\_\_\_

(3) さらに, 水平力  $P$  を漸増させていったところ,  $P = P_2$  のときに, 接地圧は図 1-4 に示す分布となった。このときの水平力  $P_2$  および最大接地圧の大きさを答えよ。

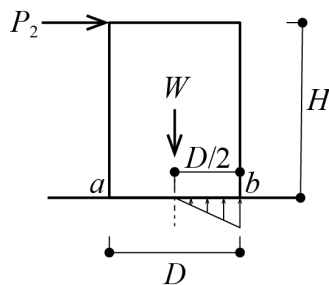


図 1-4

水平力  $P_2$  \_\_\_\_\_

最大接地圧 \_\_\_\_\_

(4) さらに, 水平力  $P$  を漸増させていったところ,  $P = P_3$  のときに, 図 1-5 に示すように物体と床面は b 端のみで接する状態となった。このときの水平力  $P_3$  の大きさを答えよ。

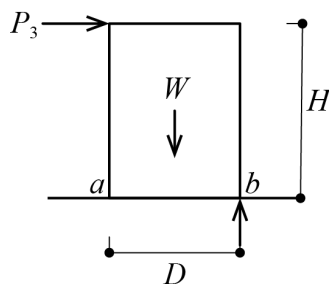
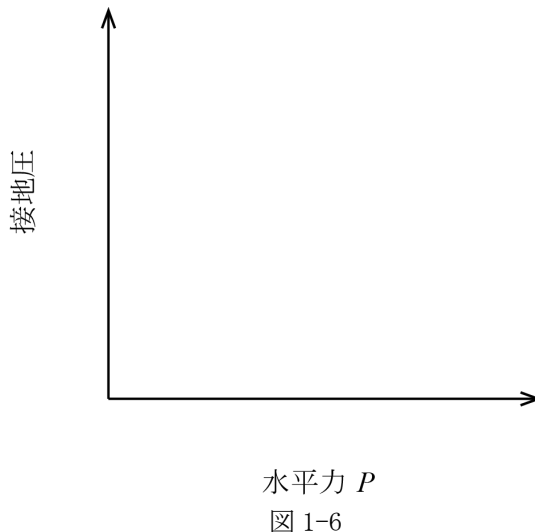


図 1-5

水平力  $P_3$  \_\_\_\_\_

(5) 問(1)～(4)までに得られた最大接地圧と水平力の関係を図 1-6 にグラフとして示せ。なおその際, 代表的な値を明示するとともに, 直線部分とそうでない部分は明確に書き分け, 必要ならば漸近線などを追記せよ。

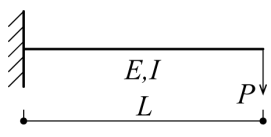


水平力  $P$

図 1-6

試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号				
構 造  (2 枚目／2 枚中)	建築学 専攻	不可	不可					
				氏 名				

※参照可の場合（ ）

<p>(6) 問(5)で得られたグラフから、ベタ基礎の耐震設計を行う際に、有用な知見が得られる。どのような知見が得られると考えられか答えよ。</p> <p>得られる設計上重要な知見：</p> <p>問 2．図 2-1 に示すような細長いロッド状の試験体に先端集中荷重を載荷する実験を行った。理論値から先端の鉛直たわみを <math>PL^3/3EI</math>，水平たわみを 0 と予測していたが，実際に測定された値は各々全く違うものだった。さて，一体なぜ理論値と実験値は異なったのだろうか。考えうる適切な理由を論理的に説明せよ。なお，寸法と荷重の計測は正確であった。（配点：8 点）</p> <div><p><math>E</math> はヤング率，<math>I</math> は断面 2 次モーメントを表す</p></div> <p>図 2-1</p> <p>説明：</p>	<p>問 3．あなたが感銘を受けた構造物（建築物でなくても良い）を 1 つ取り上げ，その構造システムの特徴を 2 点，詳細に説明せよ。スケッチを用いて説明してもよい。（配点：8 点）</p> <p>構造物：</p> <p>1 点目：</p> <p>2 点目：</p>
--	---

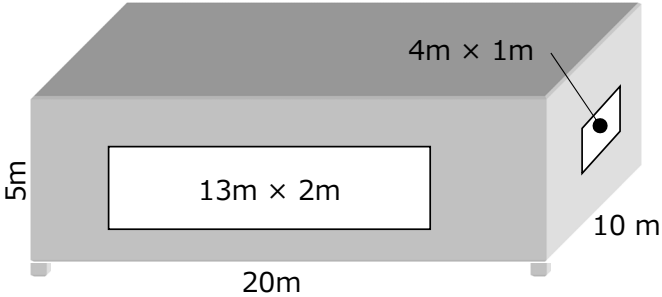
試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号			
環境 (1 枚目／2 枚中)	建築学専攻	不可	不可				
				氏 名			

【注意】「環境」の出題数は全 6 問である。計算問題は途中式を示し、指定された桁数で解答を求めなさい。解答には単位も示すこと（減点対象）。

採点

1. 室内音響計画における音響性能（音の聞きやすさ）の要件について、解説しなさい。

2. 右図に示す平屋の建物があり、右表に示す熱性能の外皮で構成されている。開口部は、図で見えている壁面にしかない。また、室内には 3.5 kW の加熱能力の暖房器具があるが、運転はしていない。外気温  $-5\text{ }^{\circ}\text{C}$ 、室温  $20\text{ }^{\circ}\text{C}$ 、換気回数 0.36 回/h で、空気の容積比熱を  $1200\text{ J}/(\text{m}^3\cdot\text{K})$  とした時、以下の問いに答えなさい。（解答は小数第 2 位まで）



1) この建物の外皮平均熱貫流率  $U_A$  値を求めなさい。

	熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]
開口部	0.1
屋根	0.5
外壁	0.8
床	0.4

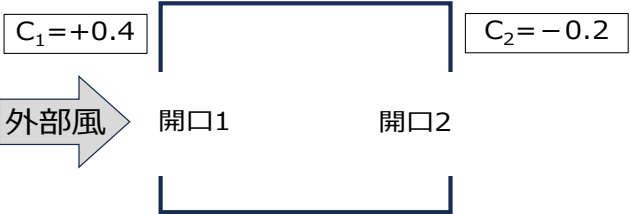
2) この建物の熱損失係数  $Q$  値を求めなさい。

3) 上記の状態から暖房運転を開始し、安定した時の室温を求めなさい。

試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号			
環境 (2 枚目／2 枚中)	建築学専攻	不可	不可				
				氏 名			

3. 真太陽時 12 時において、太陽高度が  $30^{\circ}$  で法線面直達日射量が  $300 \text{ W/m}^2$  であった。水平面天空日射量が  $120 \text{ W/m}^2$  の時、①水平面全天日射量と②南向き壁面における鉛直面全天日射量を求めなさい（解答は小数第 1 位まで）。

4. 右図の建物の外壁における風圧係数を  $C_1$ 、 $C_2$  とする。外部風速が  $3 \text{ m/s}$ 、空気の密度が  $1.2 \text{ kg/m}^3$  であったときに、以下の問いに答えなさい（解答は小数第 2 位まで）。



1) 外部風による風圧力を求めなさい。

2) 開口 1 の入口と開口 2 の出口における圧力差を求めなさい。

5. 室内における表面結露を防ぐのに有効な対策について解説しなさい。

6. 建築物における  $\text{LCCO}_2$  を低減するための方策について解説しなさい。

試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号			
構法  (1 枚目／1 枚中)	建築学専攻	不可	不可				
				氏 名			

※参照可の場合（ ）

【材料】 JAS と略称される規格について、正式名称を日本語と英語で答えよ。また、JAS 規格への適合が求められる建築材料を答えよ。また、このような規格を定める目的について簡潔に述べよ。

- ・ 日本語名称：
  - ・ 英語名称：
  - ・ 建築材料：
  - ・ 規格の目的：
- 
- 
- 
- 

【施工】 鉄筋コンクリート造について、コンクリートの打設時に鉄筋から型枠パネル内面までの距離（かぶり厚さ）を確保する方法を図示せよ。

【工法】 在来軸組工法について、土台と柱の接合部の仕口形状を立体的に図示せよ。また、図示した仕口の名称および土台と柱の部材断面寸法を図中に記入せよ。

【法規】 2025 年 4 月の建築基準法改正により、木造建築物における壁倍率の上限が変更された。改正前の倍率の上限と改正後の倍率の上限を答えよ。

- 改正前の壁倍率の上限：
- 改正後の壁倍率の上限：
-